



CAMPUS OFFROAD MOTORCYCLE MEETING

2025年度活動報告書 2026年度企画書



キャンオフ東日本 実行委員会
代表 渡部宏太郎

- 1) プロジェクト概要
- 2) 2025年度レースレポート
 - ①第1戦 オフロードピット那須
 - ②第2戦 クロスパーク勝沼
 - ③第3戦 信州マウンテンパーク
 - ④第4戦 信州大町チャレンジフィールド
 - ⑤第5戦 オフロードピット那須
 - ⑥第6戦 全国大会フラットバレー2
- 3) 数字でみるキャンオフ東日本
- 4) 2026年度の予定・ご協賛依頼
- 5) 今年度スポンサー様一覧
- 6) ご挨拶

1)プロジェクト概要

①キャンオフとは

キャンパスオフロードミーティング(以下、キャンオフ)とは1980年代に関東学生二輪連盟が主体となり、現役の大学生・専門学生が「オフロードバイクレースを通じてサークル内、また他校とのサークル同士の交流を深めること」を目的として開催されたレースです。

2016年にBigCrew様から「キャンパスオフロードミーティング東日本」の名称を引き継ぎ、キャンオフを設立した学生二輪連盟に敬意を払って「キャンオフ東日本with学二連実行委員会」を設立しました。

②活動目的

◆レースへの第一歩を応援する

各大学サークルの新入生や、社会人の初心者ライダーが最初の一步として参加できるレクリエーション形式のレースを開催しています。

レース未経験者でも、気軽に・楽しく・安全に参加できることを重視しています。

学生・社会人を問わず、「初めてのレース体験」の場となることを目指し、レースの敷居を下げることで、モトクロスやエンデューロといった競技をより身近な存在にします。

◆コミュニティの場を提供する

キャンオフ設立当初と比べ、オフロードバイク人口は大きく減少しています。SNSで仲間を探し交流する時代だからこそ、実際に集まり、一緒に走るリアルな場をつくることを大切にしています。

同じ趣味を持つ仲間同士が出会い、楽しめる場を提供するとともに、参加した学生ライダーの多くは卒業後もOBとして継続的に参加しています。大学の垣根を越えた関係性が維持され、新規参加者へのサポートも活発に行われています。

キャンオフは業界を活気付け、オフロードバイク乗りの交流を深め、お互いの情報交換等に貢献します。

2025年度は東日本として最多の5戦、東西共催で1戦を多大なるご支援の下、開催をいたしました。

2) 2025年度レースレポート

①キャンオフ東日本第1戦 那須GW5時間耐久 2025年4月26日(日) オフロードピット那須



参加者 71チーム 118人
平均年齢37.4歳、10・20代40%
形式 5時間耐久エンデューロ
出展 ブリヂストン様 Webike様 テクニクス様
MC GEAR様 BEST AUTO様

5年ぶりに、信州マウンテンパーク以来となる新規コースを追加しました。高速インターから5分、コンビニやガソリンスタンドも5分圏内という好立地で、参加者からも好評でした。お手洗いもきれいで、オフロードコースに慣れていない初心者の方も誘いやすいコースです。
河川敷にあるコースのため高低差が少なく、その点でも初心者に向いています。これらの理由から、今後キャンオフの第1戦は那須で開催していく予定です。

ご協賛一覧+リザルト+フォト+ビデオ [HP](#)

2) 2025年度レースレポート

①キャンオフ東日本第1戦 那須GW5時間耐久



2) 2025年度レースレポート

②キャンオフ東日本第2戦 梅雨前のクロスパーク勝沼5時間耐久 2025年6月15日(日) クロスパーク勝沼



参加者 **100チーム 170人**

平均年齢34.4歳、10・20代46.5%

形式 5時間耐久エンデューロ

出展 ブリヂストン様 Webike様 テクニクス様 BONSAIMOTO様
サンコンサインズ様 MC GEAR様 上州レーシング様

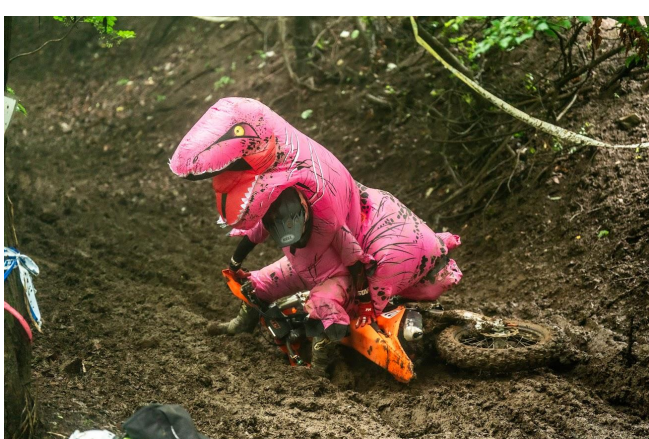
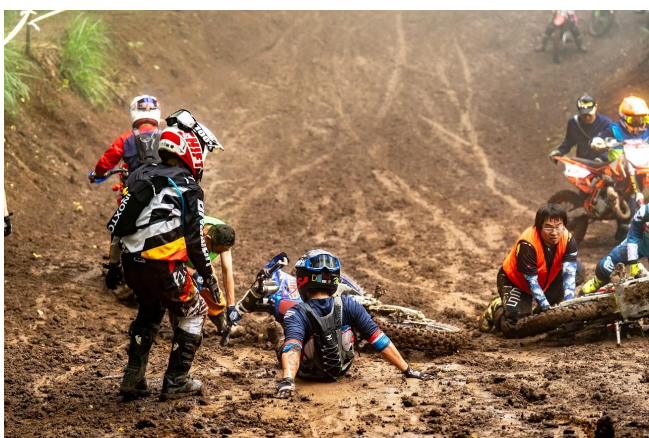
今年の勝沼戦もキャンオフ立ち上げ直し後では過去最大の参加人数となりました。また出展企業様も7社様にご出展いただきました。6年連続での開催で6月の長時間耐久ならキャンオフ勝沼というイメージの定着が行えたため、今後も同時期に開催をしていきます。

2025年度も各大学の新人の勧誘がうまく行うことができ、今大会では7人の1年生が参加をしてくれました。しかし社会人も参加できるというレースとして定着をし、老若男女問わずエントリーを集めることができました。今年は参加者の日頃の行いが良かったためかベストコンディションでの開催となり、サバイバルレースとなりました。

ご協賛一覧+リザルト+フォト+ビデオ [HP](#)

2) 2025年度レースレポート

②キャンオフ東日本第2戦 梅雨前のクロスパーク勝沼5時間耐久



2) 2025年度レースレポート

③キャンオフ東日本第3戦 5時間ガレ&スイカ祭り 2025年8月10日(日) 信州マウンテンパーク



参加者 51チーム 91人
平均年齢**27.3**歳、10・20代**60**%
形式 5時間耐久エンデューロ
出展 ブリヂストン様 Webike様 テクニクス様

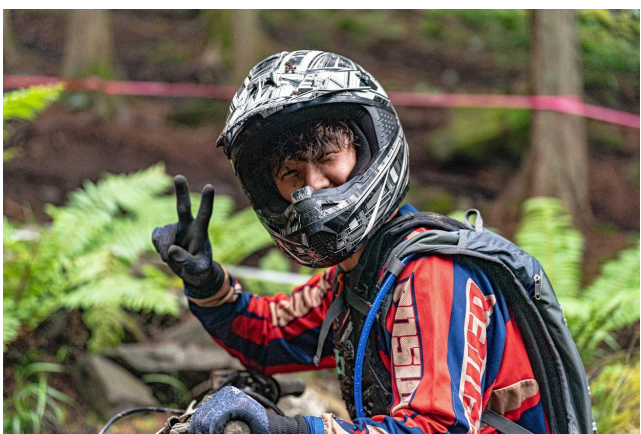
キャンオフの定番コースとなった信州マウンテンパーク。難易度の高いガレが一部の参加者から熱い支持を受けており、外せないコースとなっています。初心者や学生にとっては高難易度となりますが、このコースを難なく走ることができると、どのようなオフロードコースでも走れるようになる自信がつき、次のステップへと進むための大きな一歩となります。

2025年は例年よりも一か月早く開催したので参加の皆さまに信州産のスイカを食べ放題で楽しんでもらいました。

ご協賛一覧+リザルト+フォト+ビデオ [HP](#)

2) 2025年度レースレポート

③キャンオフ東日本第3戦 5時間ガレ&スイカ祭り



2) 2025年度レースレポート

④キャンオフ東日本第4戦

2025年9月7日(日) 信州大町チャレンジフィールド



参加者 63チーム 121人

平均年齢36.3歳、10・20代44%

形式 5時間耐久エンデューロ

出展 ブリヂストン様 Webike様 テクニクス様 ダートフリーク様

Webike様およびダートスポーツ様主催の「オフロード祭り」

(<https://www.webike.net/special/webikeoffroad-festival/>)に、キャンオフ東日本が運営として関わらせていただき、同時開催を行いました。

今回も雨が降り続くコンディションとなりましたが、マーシャルスタッフの手慣れたコースレイアウト力に助けられ、参加者から満足度の高いコースを提供することができました。

また、立地の関係から関西圏からの初参加エントラントも多く、新規参加者の開拓につながりました。

2) 2025年度レースレポート

④キャンオフ東日本第4戦 2025年9月7日(日) 信州大町チャレンジフィールド



2) 2025年度レースレポート

⑤キャンオフ東日本第5戦

2025年10月19日(日) オフロードピット那須



参加者 61チーム 102人

平均年齢29.3歳、10・20代69%

形式 5時間耐久エンデューロ

出展 ブリヂストン様 テクニクス様 BATONBIKES様
ストレンジモーターサイクル様

初戦として開催したオフロードピット那須戦が好評だったため、追加開催を行いました。

600cc以上の「ビッグオフ」と呼ばれる大型オフロードバイクも走りやすいコースであることから参加を呼びかけた結果、数台が参加してくれました。また、ビッグオフに強いストレンジ様にご出展いただき、話題のKOVEの試乗会も開催していただきました。

さらに金曜日には、コース近くにあるブリヂストン様の那須工場見学も実施していただき、製品への理解を深める貴重な機会となりました。

ご協賛一覧+リザルト+フォト+ビデオ [HP](#)

2) 2025年度レースレポート

⑤キャンオフ東日本第5戦 2025年10月19日(日) オフロードピット那須



2) 2025年度レースレポート

⑥キャンオフ東日本・西日本全国大会 2025年12月14日(日) フラットバレー2



参加者 57人

平均年齢27.2歳、10・20代77%

形式 90分エンデューロ・スプリント・街乗りクラス

出展 ダートフリーク様 コハクジャパン様

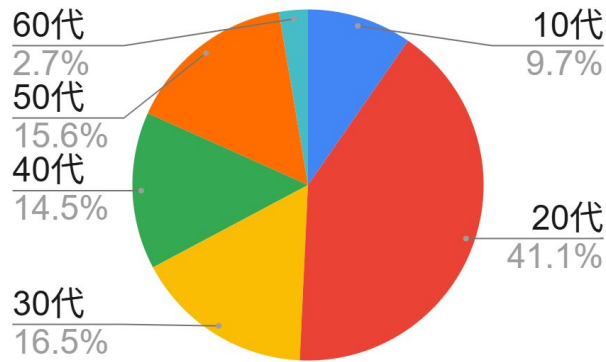
全国大会は2024年同様にフラットバレー2で西日本主催で開催しました。名前の通り、フラットな地形のコースでエンデューロコースのコース設定に難儀しましたが例年通りと同じ、スプリント・エンデューロ・街乗りクラスの3つのコンテンツを実施できました。

オフロード走行に適さない車両で行われる名物レースの街乗りクラスも行い、一年を締めくくりました。

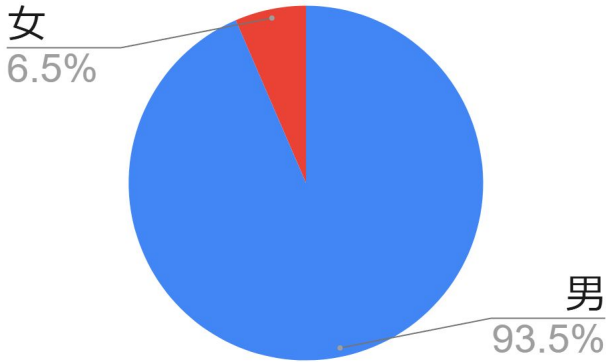
リザルト+フォト+ビデオ [HP](#)

3) 数字でみるキャンオフ2025

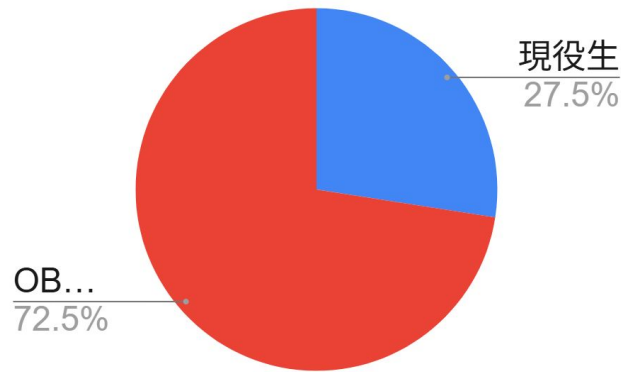
①年齢構成
10~20代が半数以上！



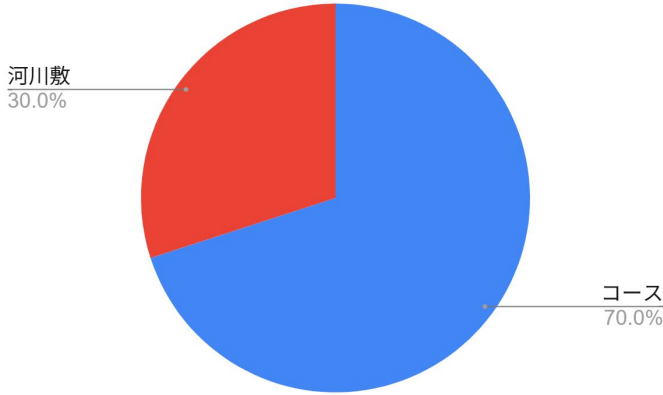
②男女比
いわずもがな。



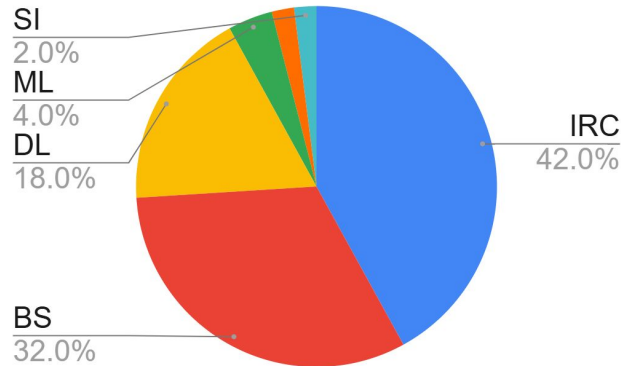
③学生比率
今年は新入生の入部があり
現役率が上がりました。



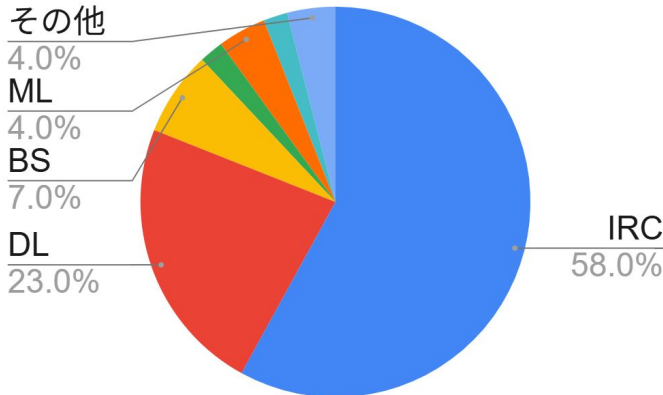
④練習場所
河川敷率が減少。
各1位は猿が島とクロスパーク勝沼。



⑤お気に入りのFタイヤ
1位X20、2位E50、3位iX07s
4位VX40、5位M5B

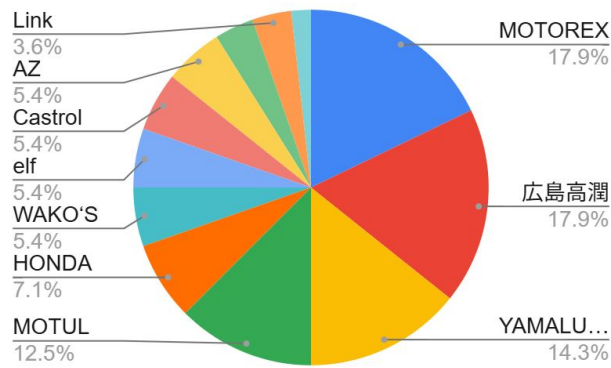


⑥お気に入りのRタイヤ
1位VE-33s、2位MX14、
3位M5B 4位JX8ゲコタ、5位VE33

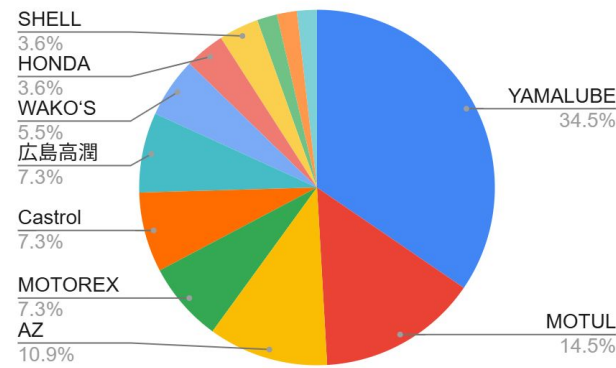


3) 数字でみるキャンオフ2025

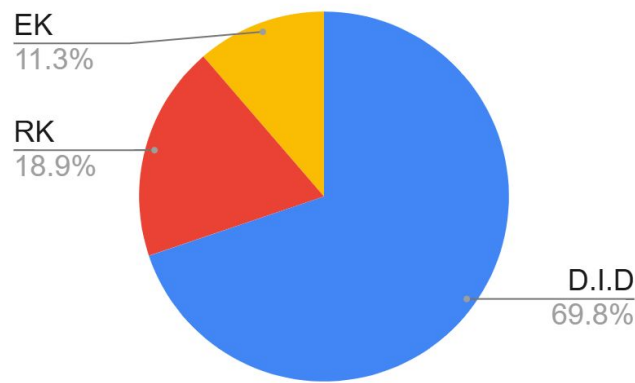
⑦愛用2stオイル
MOREXが初のトップ



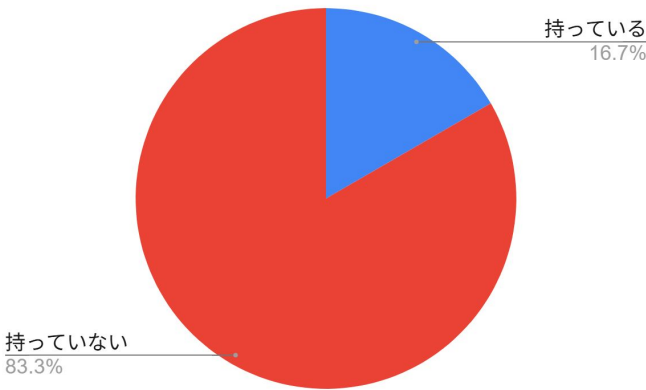
⑧愛用4stオイル
AZが目立つように



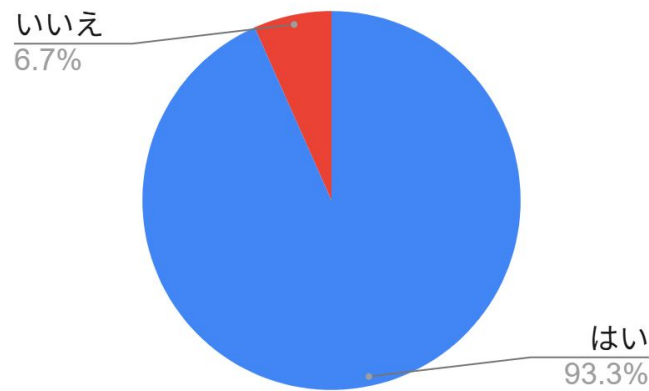
⑨愛用チェーン



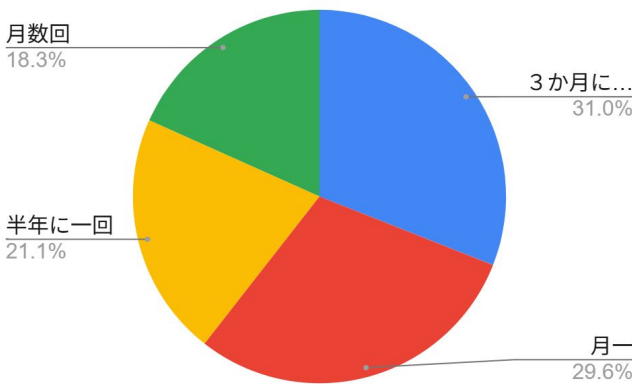
⑩現役生のマイバイク所有率
未所持の学生は部車とレンタル車両で参加



⑪Webike会員率

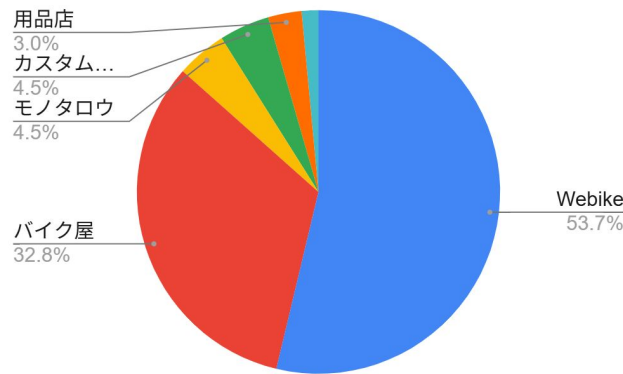


⑫Webike使用頻度

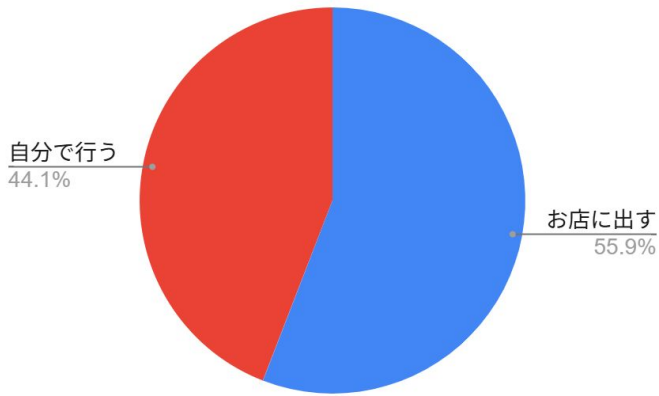


3) 数字でみるキャンオフ2025

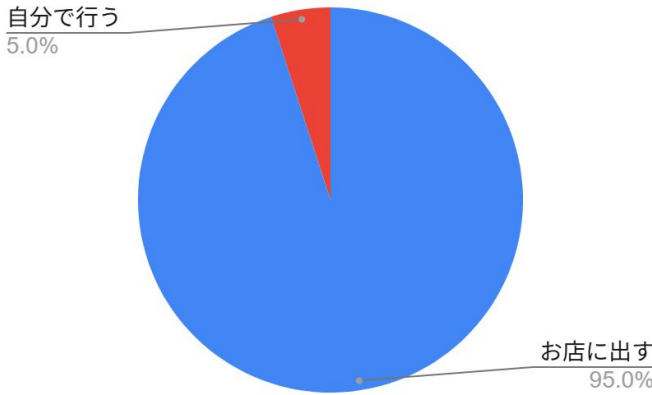
⑦純正部品購入先
半数以上がWebike様で購入



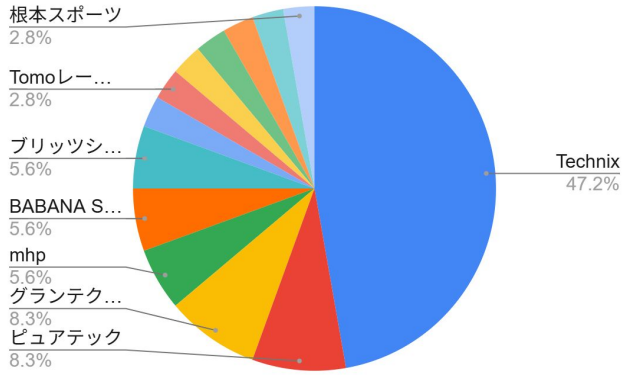
⑧Fサスメンテ



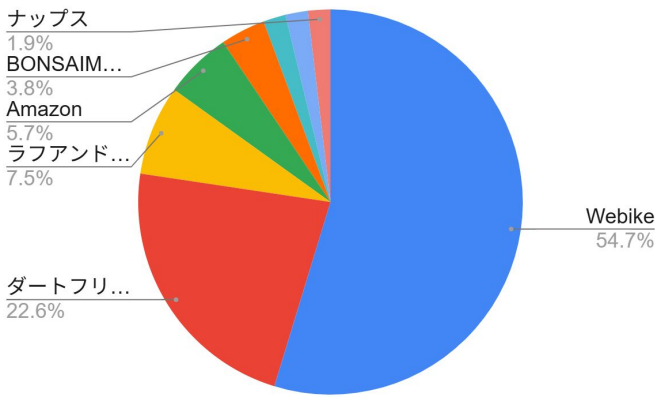
⑨Rサスメンテ



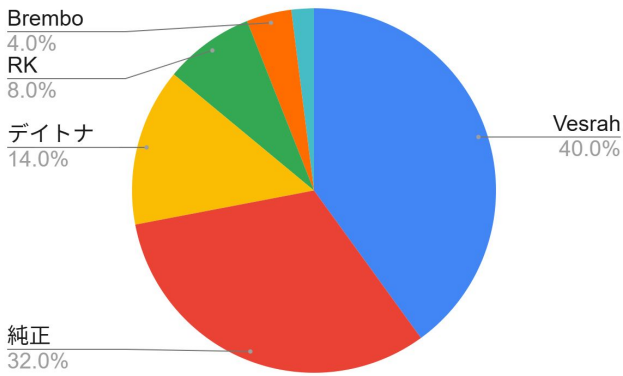
⑩サスメンテ依頼先
約半数がテクニクス様に依頼



⑪オフロード用品購入先



⑫愛用ブレーキパッド
Vesrth様がトップ



4) 2026年度の予定・ご協賛依頼

2026年度の日程

- 4月27日 東日本第1戦(オフロードピット那須)
- 6月 8日 東日本第2戦(クロスパーク勝沼)
- 7月19日 東日本第3戦
- 8月10日 東日本第4戦(信州マウンテンパーク)
- 9月 7日 夏全国大会(信州大町チャレンジフィールド)
- 10月19日 東日本第5戦(調整中)
- 12月 冬全国大会(未定)

5)2025年度スポンサー様一覧

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社
ダンロップモーターサイクルコーポレーション
モトファクトリーパルス
Off1.jp
team-JOMS
TECHNIX
Webike
ダートフリーク
Bosch Japan
MOTUL
LAVEN
Vesrah
工房きたむら
Ridge Cycle
フレアライン
BONSAIMOTO
BEST AUTO
CGC
オフロードピット那須
クロスパーク勝沼
信州マウンテンパーク
信州大町チャレンジフィールド
フラットバレー2
DESSYJapan
ずっこけアドベンチャー
MRP
WaveFactory
飯野心平看護師事務所
MC GEAR
サンコンサインズ
志村技研
川崎重農業
となりのトロトロ
濱原颯道
もすけ・インターナショナル
ババナショックス
The Walk &Co.
尾澤部屋親方

5) 2025年度スポンサー様一覧



5) 2025年度スポンサー様一覧



2025年度は過去最多となる東日本単体で5戦を開催することができました。また昨年に引き続き多くの方に参加していただきました。

エンデュロレースは他の競技に比べ活発的で、レース数も主催団体数も多いですが、その中で今年度のような結果を残せたのは他団体との差別化とブランディングの確立ができた結果かと思います。来年度もキャンオフの特色を活かし、レース初心者が参加しやすい大会作りを続け、引き続きバイク業界を盛り上げてまいります。

最後にこの1年間、様々な形でキャンオフ東日本をサポートしてくださった皆様、本当に有難うございました。また来年も良い報告が出来る様、チーム一同頑張っ参ります。今後ともキャンオフ東日本をよろしくお願いいたします。

来年度以降も協賛、アドバイス等のご支援を頂ければ幸いです。

2025年度の開催における協賛、誠に有難うございました。
2026年度もよろしくお願いいたします。

キャンパスオフロードミーティング東日本with 学二連
2025年度 実行委員会一同